

「農大この一年」～主な活動・イベント～



夏休み返上で資格取得

夏期休業期間中、「けん引自動車（農耕車）」、「小型車両系建設機械」、「家畜人工授精講習会」などを受講後、資格取得に挑戦。全員揃って合格し、「夏の陣」を乗り切りました。（7月23日ほか）



卒業論文中間検討会

自らの将来の経営構想等を見据えて取り組む中間検討会で、2年生は現地ほ場等で現状を報告した後、1年生からの質問や助言者のアドバイスに熱心に受け答えしました。（6月9日・7月8日）



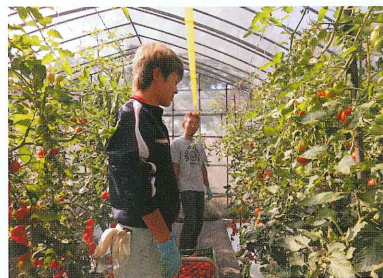
入校式

今年度は、各学科合わせて57名が入校しました。「地域農業、日本の農業の発展に貢献」するという宣誓を噛み締め、これからの農大生活への期待に胸を膨らませました。（4月10日）



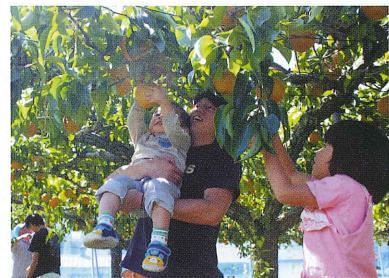
農業観を培う「海外農業研修」

2年生は約10日間の日程で、コロラド州の広大な農場、農産加工場等を視察後、ホームステイしました。その貴重な体験を通して、改めて自らの農業観について考えを深めました。（9月2日・11日）



研修活動でスキルアップ

県内各地に赴く「先進農業者等体験学習」、隣県に向く「先進経営者研究」、学科ごと実施の「県外研修」等が進められ、経営力を実感し、マーケティングの大切さを学びました。（4月23日ほか）



実践を通じた販売力強化

農大市場で初の「模擬観光果樹園」を開催しました。また県内外のイベントや販売店では、自らがけた農産物や加工品の販売を積極的にを行い、企画力・販売力の強化に努めました。（9月20日ほか）



「拓心寮」退寮式

2年生を代表して、稲作経営学科の三澤拓也前学生会長が後輩や仲間と別れの言葉を述べた後、学生代表がお世話になった舎監の先生と食堂の方に花束を贈りました。（2月20日）



卒業論文発表会で成果発表

新たな品目や品種、技術を取り入れた経営の発展・強化、伝統野菜等の安定生産技術、消費者ニーズを捉えた安全安心な栽培や6次産業化の取組みなど、多岐にわたる内容となりました。（12月17・18日）



第31回農大祭の開催

『未来を耕す農の業（わざ）』をテーマに、学習成果の展示発表や農産物の販売に加え、ワッキー貝山さんをゲストに「農の夢語りコンクール」等のイベントを行いました。（11月3日）

春を待つ新学生寮

平成25年7月17日、男子寮北側の畑のボーリング調査が開始され、雪解けを待ち、あくる4月から重機を投入しての本格的な工事が始まりました。あたかも1年生の学習と同時進行的に工事も進み、6月には基礎が出来、7月には大型クレーンによる木材の組み上げが行われ、男子寮の一部の外観が現れました。続いて女子寮や食堂、管理棟などが建ち、日々刻々と変わる表情に学生たちもその日が来るのをワクワクしながら心待ちしている様子がうかがえました。

稲刈りの頃には、外装も施され、シツクで趣のある仕上がりとなりました。更に、舶来のチップポイラーも設置され、雪降る季節に試運転も行われ、その効果が期待されます。周りの雪が解けると新しい学生寮の物語がいよいよ始まり、ますます機会がございまして、どうぞ一度ご覧ください。

